

らいふ

2013.1 No.56



「ハクチョウ」白石セツ子

- 年頭挨拶
- わかりやすい医学教室（産婦人科）
「骨盤臓器脱（性器脱）について」
- 認定理学療法士の紹介と抱負
- 歯科シリーズ

ホームページ
<http://www.ojihosp.or.jp/>

—— 医療法人 王子総合病院理念 ——

「私たちは、みなさまの健康、医療、
介護を信頼と愛情で支えます。」

王子総合病院理念

みなさまの人格を尊重し、安全で最善の
医療を提供します。

基本方針

1. みなさまの意思（自己決定権）を尊重した、安全で信頼される医療の提供に努めます。
2. 地域基幹病院として、職員の研鑽に努め、人間愛に満ちた高度な総合的医療の提供に努めます。
3. 地域住民や医療機関との連携を緊密にし、地域の医療、福祉、保健の向上に努めます。



医療法人 王子総合病院

謹賀新年

年頭挨拶



院長・理事長

大岩 均



謹んで新年のご挨拶を申し上げますとともに、本年もどうぞ宜しくお願いいたします。皆さまにとりましては穏やかな新年を迎えられたのではないかと心からお慶び申し上げます。一昨年に起きた東北大震災からの復興はまだまだ進んでおらず、福島原発に至ってはいつ收拾がつくのか全く予想が出来ない状況です。多くの被災者の方々が二回目の正月を仮設住宅や故郷から遠く離れた土地で迎えられた

ことを考えると身につまされる思いです。復興予算が被災地に適正配分され、有効に活用されて一日でも早く復興することを祈りたいと思います。

さて昨年の日本を振り返りますと東京スカイツリーの開業、ロンドンオリンピックでの日本人選手の活躍、また北海道にとっては新幹線の新函館・札幌間の着工認可など明るい出来事がありました。ロンドンオリンピックでは金メダルの数こそ多

くはありませんでしたが、過去最高の38個のメダルを獲得しました。残り1秒からの逆転勝利で決勝進出した男子フェンシングの試合を、ハラハラドキドキしながら見ていましたが、最後まであきらめない選手の姿に心から感動しました。また、バレー、サッカー、アーチェリーなど女子団体競技の活躍も忘れることが出来ません。しかしながら、経済の停滞、政治の混迷など暗い話題も少なくなかった

1年でもありました。

医療関係に目を向けますと、天皇陛下が昨年2月に狭心症の治療のため、東大病院で冠動脈バイパス手術を受け、無事退院したという事がありました。手術から15日目の退院でした。心臓の大手術を受けたのに僅か2週間で退院できるのかと驚かれた方もいたのではないのでしょうか。また、毎日のように狭心症やその治療、手術などについてテレビや新聞で報道されましたので、皆さんも多くの知識を得たのではないかと思います。そのころバイパス手術の説明をする時には、患者さんの理解度が高くて実に楽であったと心臓外科の先生が話しておりました。しかし、個人的に昨年最も衝撃的だったのは、iPS細胞でノーベル生理学、医学賞を受賞した中山教授でした。日本人としては19人目ですが、50歳という若さで受賞というのは素晴らしいを通り越して、驚きの一言でした。整形外科医を目指したが、手術が下手で「ジャマナカ」と呼ばれ、一人前の臨床医にはなれ

ないのではないかと悩み研究者の道を選んだと報道されていた。最初私もその言葉通りに受けとめていましたが、彼へのインタービューをもとに書かれた本の中には、「小さいころから機械いじりが好きで、手先は器用なほうだと思っている」「基礎医学に進んでから、実験で犬やマウスの手術をしたが上手にできていた」と書かれています。

う一度会う前に、是非、iPS細胞の医学応用を実現させたい」と結んでいます。大変重みのある言葉で、私も一臨床医としてこれから何ができ、何をしなければならぬのかを深く考えさせられた一言でした。

長々と昨年の出来事について書いてしまいましたが、王子総合病院としては昨年1月から念願のPET-CTが稼働いたしました。がんの診断、治療評価の面で一段と診断の質が向上したのではないかと考えています。一方、脳外科の医師が1名体制になったため、昨年9月から外来・救急診療の面で地域の皆さんや、市内の医療機関にも大変ご迷惑をおかけしています。4月からは何とか人員を確保しこれまで通りの診療が出来るよう鋭意努力しているところでございます。それまでの間大変ご不便をおかけいたしますが、もう少しご辛抱いただければと思っています。また、今年1月から電子カルテが導入されました。この「らいふ」が皆様の手に届いているころには電子カルテが

稼働していると思いますが、職員皆が操作に不慣れなため、検査、外来診療などに大変ご迷惑をお掛けしているのではないかと思います。この点につきましても操作、運用に慣れますまで暖かい目で見守っていただければありがたいと思います。

年頭の挨拶らしからぬ内容となりましたが、外来を待っている間の暇つぶしにでもなれば幸いです。最後にこれから厳冬期に入り、電力需給に問題が起きないことを願うと共に、今年が皆様にとって最良の年になることをお祈りいたしました。本年も王子総合病院をどうぞよろしくお願いいたします。

た。実際私が循環器内科医になって数年した頃、私の同僚もまさにエンドセリンの研究をしていたからです。この後研究者として多くの挫折を乗り越え遂にiPS細胞にたどりつくことになりました。そして本の最後を「臨床医としては役に立たなかったが、医師として最期は人の役に立って死にたい。父にも



特集

骨盤臓器脱(性器脱)について

産婦人科 堪野真紀



勘野医師

意外と知られていない？
骨盤臓器脱（性器脱）について
お話します。

骨盤臓器脱とは

婦人科では日常に見られる疾患の1つですが、正確な頻度は報告されておらず、羞恥心から受診出来ず一人悩んでいる女性はまだまだ多いと考えられます。欧米では経膣分娩した女性の3〜4割に生ずるとも言われています。悪性腫瘍と異なり、女性自身が不快感だけではなく、排尿障害などの症状を感じるものです。

種類

どの部位が弱くなっているのかで分類します。膣の前壁

が弱くなって起こる膀胱脱・尿道脱、膣の後方が弱くなって起こる小腸脱・直腸脱、膣の上部が弱くなって起こる子宮脱・膣脱（子宮を摘出された女性の場合）があります。頻度としては膀胱脱が最も多く、直腸脱、子宮脱が続きます。ただし複数の骨盤臓器脱を同時に認めることが多いです。

原因

骨盤の底には骨盤底筋群という筋肉がハンモック状に張られています。その底筋群は骨盤内の臓器（膀胱、子宮、直腸）が落ちないように支えています。出産や加齢によって骨盤底筋群が傷ついたり緩むと、尿や便が漏れたり、さらに支えを失った骨盤内臓器が産道、つまり膣をめぐって落ちてくるのです。その他、肥満や慢性の咳、重いものを持ち上げる仕事、常習便秘など腹圧が上昇し骨盤底に強い負

症状

荷が加わるものは骨盤臓器脱を起こしやすくなります。

異物感（何かはさまっている感じ）や下腹部の重苦しさなどが主です。長時間の立位時や排便時など腹圧がかかると臓器が脱出し、脱の程度がひどくなると常に脱出した状態になります。膀胱脱や尿道脱では、しばしば尿失禁や頻尿を認めるだけでなく逆に排尿困難を認める場合もあります。直腸脱では便秘や排便困難が出ることもあります。命に関わるものではないのですが、著しく生活の質を下げるといのが特徴です。

治療法

保存的治療法

(1) 骨盤底筋体操

軽症例には、骨盤底筋を鍛える体操（お尻の穴を閉める体操）が有効です。継続する

ことで、脱の進行を予防し、痛みが緩和されたり、尿失禁の改善がある程度期待できます。

(2) 膣内装具（リングペッサリーなど）

「手術はまだ考えていない」、「合併症などの問題で手術ができない場合」などに、膣内に挿入することで脱を元の位置にもどして症状をとる方法です。ただ、柔らかく弾力のある器具ですが異物ではありますので、長期に使用することとで膣粘膜からの出血や感染による帯下増量などがみられることがあります、手術に踏み切ることも多くあります。

手術療法

様々な方法がありますが3つ紹介します。

(1) 従来の手術療法

基本的にはゆるんだ膣壁がある程度切除して縫い縮める手術（膣式子宮全摘術と前後の膣壁縫縮術の組み合わせ）

です。しかしこの手術は、そもそも緩んでしまった弱い組織を使って修復するため、骨盤臓器脱（膣脱）が再発することが少なくないと言われています。また膣壁を切除して縫縮するため、膣内腔が狭くなり性交障害の問題が生じることもあります。

(2) 膣断端―仙骨固定術

高度あるいは繰り返し返す脱に対する修復術として、メッシュなどを用いて膣尖部を仙骨に固定する手術方法です。腹腔鏡下では高度な技術を要するので通常は開腹術で行われ、侵襲の高い手術であり一般的ではありませんが、再発率は少ないと言われており今後増えていく可能性はあります。

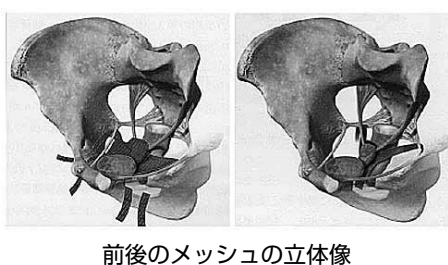
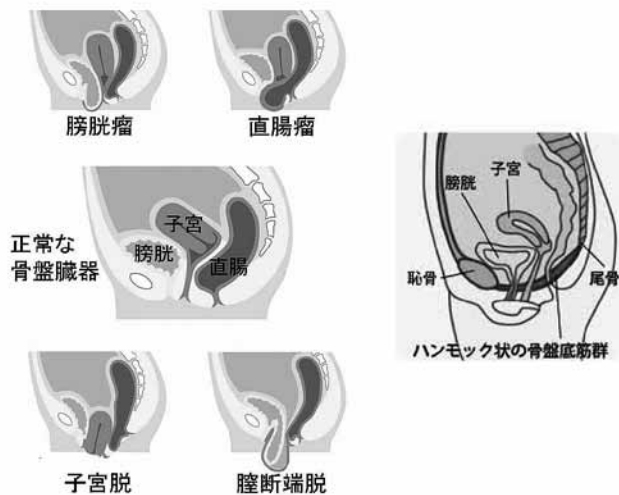
(3) TVM (Tension-free Vaginal Mesh・メッシュ) 手術

ポリプロピレンのメッシュで弱くなった支持組織を置き換える術式です。基本的には

子宮は摘出せず（摘出することも可能ですが）膣も縫縮せず、メッシュで臓器を持ち上げるという経膣的に行うものです。2000年にフランスの婦人科医が、従来の手術方法の高い再発率を改善しようと考案し、日本においてもすでに広まりつつあります。

期成績はわかりませんが、短期成績は非常に優れていると言われています。

当院でも、患者様に合わせた治療法を選択していますので、どうぞお気軽に受診して下さい。



外来診療案内

平成24年12月1日現在（都合により変わる場合があります。）

		月 曜 日		火 曜 日		水 曜 日		木 曜 日		金 曜 日	
		午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後	午 前	午 後
		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
内 科	内 科 診療室		藤 瀬			藤 瀬		藤 瀬		藤 瀬 ※1	
循環器内科 午前 新患受付11:00	1 診	大 畑		石 井		堀 田	石井※2 (ペースメーカー外来)	石 井	不 定	石 井	
	2 診	堀 田	不 定	吉 田	不 定	吉 田	不 定	大 畑		大 畑	不 定
	3 診	大 岩		大 岩		大 岩				不 定	
	4 診	松 本		松 本		加 藤		松 本		加 藤	
神経・精神科	4 診										出張医
呼吸器内科 午前 新患受付11:00	1 診	小 栗	萩 (出張医)	河 井	小 栗 ※3	小 栗	河 井	河 井	朝比奈 (出張医)	小 栗	猪 村 (出張医)
消化器内科 午前 新患受付11:00	3 診	奥 田	不 定	土 居	不 定	石 川	不 定	土 居	不 定	土 居	不 定
	4 診	南		奥 田		南		奥 田		南	
	5 診	植 村		石 川		植 村		石 川		植 村	
血液腫瘍内科 午前 新患受付11:00	2 診	藤 見 (移植外来)	蟹 澤 (移植外来)	蟹 澤	橋 本	藤 見	蟹 澤	蟹 澤	藤 見	蟹 澤 ※4	橋 本
外 科	2 診	狭 間	細 井			狭 間	佐 藤	岩 井 ※5		渡 邊	京 極
	3 診	渡 邊		岩 井 ※5		岩 井	岩井※6 (乳腺外来)			佐 藤	岩井※10 (緩和ケア外来)
心臓血管外科	1 診	村 上				牧 野				村 上	杉 本 (静脈瘤外来)
脳神経外科 再来患者のみ	1 診	不 定 (出張医)		不 定 (出張医)		不 定 (出張医)		不 定 (出張医)		不 定 (出張医)	
神 経 内 科	2 診					久 原 (出張医)					
整形外科 午前 受付11:00	1 診	鈴 木	鈴木 (スポーツ外来)	鈴 木		鈴 木		鈴 木	下段／藪内 (スポーツ外来)	下 段	
	2 診	下 段		藪 内		下 段		森 (出張医)		藪 内	
産 婦 人 科	1 産	中 郷	不 定 (産後健診のみ)	定 免		古 田		野 村		定 免	
	2 婦	野 村		中 郷		野 村		勘 野		古 田	
	3 診	定 免		古 田		勘 野		中 郷			
眼 科 午前 受付11:00	1 診	北 谷		北 谷		北 谷	北 谷	北 谷		北 谷	
	2 診	鴛 澤 (出張医)		鴛 澤 (出張医)		鴛 澤 (出張医)	鴛 澤 (出張医)	鴛 澤 (出張医)		鴛 澤 (出張医)	
耳鼻咽喉科	1 診	太 田	太 田	太 田 ※5		太 田 ※5		太 田 ※5		太 田	太 田
	2 診	佐々木	佐々木	佐々木 ※5		佐々木 ※5		佐々木 ※5		佐々木	佐々木
皮 膚 科	1 診	出張医 ※5				出張医 ※5				出張医 ※5	
泌 尿 器 科	1 診	田 口		栗 村	不 定	田 口		不 定	不 定	不 定	
	2 診	不 定		不 定		不 定		不 定		不 定	
小 児 科	1 診	鈴 木	福 島	小 林		小 林		鈴 木		小 林	鈴 木
	2 診	福 島	鈴 木	福 島	鈴木 (工口ー外来)	福 島	不 定 (乳児健診) (予防接種) 14:00～診療開始	小 林	鈴木 ※1	鈴 木	谷 口
	3 診	小 林	不 定 (1ヶ月健診)	鈴 木	小林 (神経外来)				不 定 (予防接種)		小林 (神経外来)
	4 診				武田※2 (心臓外来)		岡本※2※8 (腎臓外来)		田島※2 (内分泌外来)		
放射線治療科	1 診	北 原		北 原		出張医		出張医		北 原	
麻 酔 科 新患受付11:00	1 診	田 中				渡 辺				浅野※9 (出張医)	
	術前診察	宇 野		田 中		玉 城		渡 辺		樋 口	
歯 科	1 診	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田	岡 田
	2 診	出張医	出張医	出張医	出張医	出張医	出張医	岡 田	岡 田	岡 田	岡田 (14:00～)

※1＝予約患者のみ／※2＝月1回／※3＝予約・新患は紹介患者のみ／※4＝連携室又は医師(蟹澤・藤見)に直接連絡をしている予約のみです。／※5＝11:00まで／※6＝新患のみ／※7＝麻酔科外来にて／※8＝受付13:30～15:00まで／※9＝再来・予約のみ 9:00～10:30診療で受付10:30まで／※10＝完全予約制13:30～15:00

【ご注意】

- ①都合により診療時間、医師が変わる事がありますので、あらかじめご了承下さい。
- ②初診受付時間、午前（8：30～11：30）午後（13：00～15：00）
但し、各診療科及び医師により異なる場合があります。
- ③再来機受付時間、午前（7：00～11：30）午後（12：15～15：00）
- ④神経内科・精神科は、当院他科医師の紹介が必要。新患は受けつけていません。
- ⑤歯科は予約制になっております。

文化祭・秋のお楽しみ会開催

ケアライフ王子では10/22～11/12まで文化祭を開催いたしました。

1Fロビーには利用者様が日頃の趣味活動で制作した作品などを展示し、利用者様やご家族に楽しんでいただきました。

また、期間中の11/10には秋のお楽しみ会を開催いたしました。会場内に年賀状作り・化粧・ゲーム・喫茶のコーナーを設け、利用者様に楽しんでいただきました。当日はたくさんのボランティアさんの協力を得て利用者様も普段以上の笑顔で過ごされておりました。ご協力ありがとうございました。



2012年災害対策訓練

今年は、平成24年9月29日(土)の午前に行われました。消防署及び自衛隊の協力を得て、行われました。



予防健診のお知らせ

- 健診日：月曜から金曜日
- 時 間：午前8時～12時頃まで
- 1. 一般健診 22,197円
- 2. 日帰り人間ドック 29,400円
- 3. 追加項目
 - ①乳がん検診 (2方向 5,500円・1方向 4,500円)
 - ②子宮がん検診 5,831円
 - ③PET-CT検診 92,000円
 - ④その他
- 4. その他

～～～お気軽にお問い合わせ下さい～～～

申込み・問合わせ先

健診センター：TEL0144-32-8111(代)
内線 295・296

糖尿病教室のお知らせ

下記の日程で開催します。
どなたでも参加できます。

参加費
無 料

お気軽にご参加ください

- 開催日：2月15日(金)
3月15日(金)
4月19日(金)
- 時 間：午前10時30分～
- 場 所：王子総合病院 講堂 (3階)
- 講 師：医師、理学療法士、薬剤師
管理栄養士、看護師
歯科衛生士、臨床検査技師

※直接会場において下さい。

※講師の都合により開催中止の場合もありますので
電話にてご確認ください。(☎0144-32-8111 循環器外来まで)

表紙写真の募集

条件

- 1人何点でも結構です。
- 風景写真(人物は写らない方が良い)
- カラー写真
- 原則として応募写真は返却いたしません。
(返却ご希望の方はお申出下さい。)

応募方法

- 写真の裏にタイトル、住所、氏名、電話番号を記入願います。
- 提出先は「らいふ」事務局まで。
- 採用の方には「らいふ」郵送にて発表します。
お写真下にお名前を掲載させて頂き、粗品を
進呈いたします。

「らいふ」の掲載内容についてご意見、ご要望がございましたら遠慮なく事務局までお申しつけ下さい。